市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-①	景観維持緑化振興事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2)－ウ 観光客の受入れ体制の整備
担当部課名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-10-(1)
事業内容	村内幹線道や観光、文化施設の美化活動のために必要な車輌を導入し、花の村づくり運動を村内全域に推進することにより、観光客受入体制を強化する。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	4,171				
	(b) 予算現額	2,704				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,467				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,704				
B. 執行済額		2,704				
うち交付金充当額		2,162				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額から1,467千円減額となっているが、予算措置した時点の見積額と入札額との差であり計画どおりの執行である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
活動車輌の配備（2tダンプ車）	目　標	（　1台　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	1台			
	目　標		（　）	（　）	（　）
	実　績				
	目　標		（　）	（　）	（　）
	実　績				
	目　標		（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：車輌を購入し、配備することが出来た。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（平成23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（平成33年度）
美化緑化活動　歩道植樹帯	目　標	（　2km　）	（　2km　）	（　）	（　）	（　2km　）
	実　績		2km			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：配備した車輌を活用し、国道329号線沿い歩道植樹帯2kmの美化緑化活動を行った。また沖縄県緑化推進委員会より、花の苗の無償配布（グリーンコミュニティ支援事業）を受け、宜野座村緑化振興会において育苗後、宜野座村まつり・阪神キャンプ・産業まつり時に当該車輌により花プランターを設置し、景観の維持に務めた。活動目標は達成出来たと考えている。

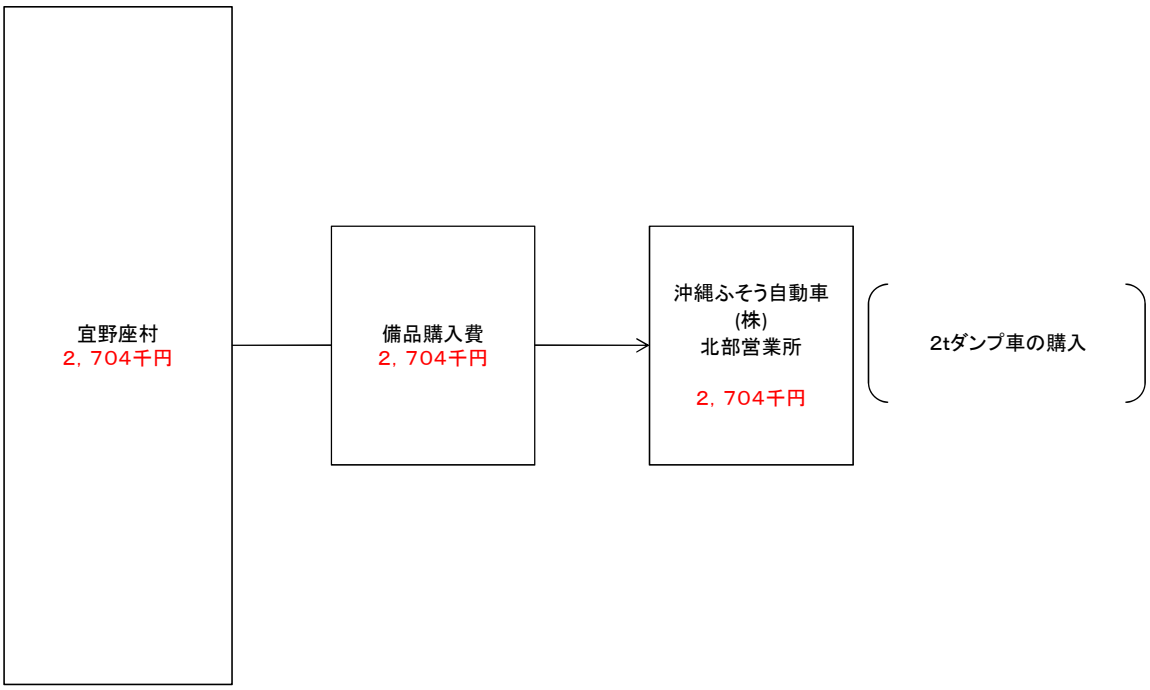
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	花プランターを配置するにあたり、グリーンコミュニティ支援事業による苗木の無償配布を受け、その苗を約1ヶ月～2ヶ月の間緑化振興会において育苗した上で、花プランターを設置しているが、育苗に関する肥料・ポット・土などの資材及び育苗作業に係る作業員が必要である。 グリーンコミュニティ支援事業が終了した場合、花の苗の確保にも費用がかかることから、今後の予算確保が課題である。	緑の募金事業等を活用し苗木を購入するなどの検討が必要である。

今後の取り組み方針

〇緑化振興会では、村内緑化を推進する目的で、村内各種団体（区、婦人会等）が花壇整備とうで花を植える場合、草花や花木の苗を無償提供しているが、今後は若干の負担をお願いするなどして、人件費や苗代の確保を検討していきたい。
〇村民と一体となって観光客を誘客する雰囲気をつくり、地域単位（行政区等）でも緑化・美化作業が活発化するよう2tダンプを積極的に活用できるようにする。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,704	2,704	2,162	542	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	〇	支出先の選定方法は妥当か。	〇備品購入は、指名競争入札による結果であり、妥当であったと考えられる。 〇予算規模も、三社より見積を徴収し決定したので適正であると考えられる。 〇事業を実施するうえで、不可欠な備品購入となっている。
	〇	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	〇	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1・②	阪神タイガース春季キャンプ受入事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	社会教育課	事業実施（予定）年度	H24～H33	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(2)
事業内容	阪神春季キャンプの受入体制の強化を図り、キャンプ中はもちろん年間を通して誘客出来る観光資源として開拓していく。				
実施方法	■直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	8,652				
	(b) 予算現額	6,388				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,264				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	6,388				
B. 執行済額		6,388				
うち交付金充当額		5,109				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容は、ほぼ実施したので適正であったと考えている。しかし、今回のキャンプは、例年の1ヵ月から、1週間早めの打ち上げだったので、当初予算を減額した。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
グラウンド等の改修整備	目　標	（　改修整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	改修整備の実施			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：春季キャンプ中、選手が快適に練習ができるよう、球場内外の整備、ブルペンの整備など、選手及び見学者が快適な環境を達成できた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
キャンプ受け入れ態勢の整備（土入替え、防球ネット、歓迎のぼり等整備）	目　標		キャンプ受け入れ態勢の整備	（　）	（　）	（　）
	実　績		キャンプ受け入れ態勢の整備			
【参考指標】 プロ野球見学者数	目　標		（　85,200　）	（　）	（　）	（　85200　）
	実　績	56,800	67,300			

進捗状況説明：今回のキャンプは、例年の約1ヵ月から、WBCの関係で1週間早めの打ち上げだった。しかし、人気選手の入団や、イベントの開催等により、昨年より10,500人見学者がのびた。

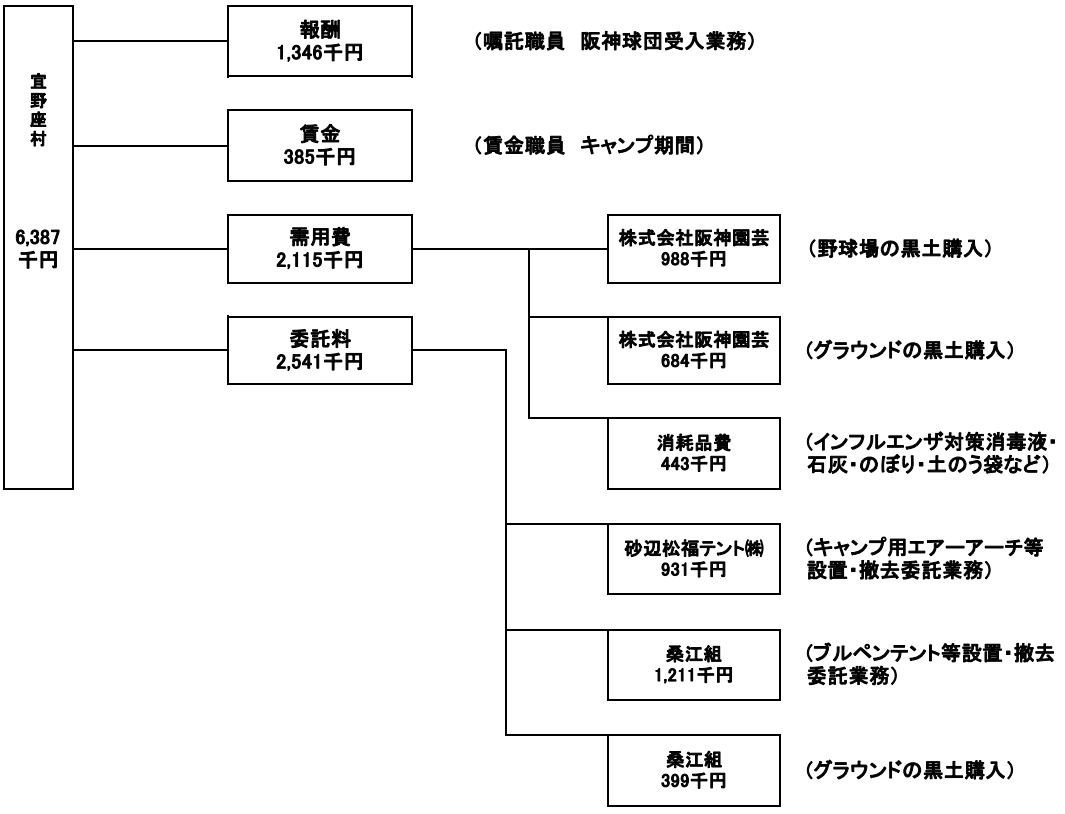
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①観光客へのアピール不足なので、観光推進協議会と連携を図る必要がある。 ②お客さんの安全を考え防球ネットの改善が必要である。	・選手の宿泊施設との連携及びコンベンションビューローとの調整検討。 ・イベントの告知の方法など、県内外のマスコミへ取材依頼の検討。 ・観光推進協議会・商工会との連携で新たな効果を生み出す。 ・協力会会員と阪神タイガースとの新たな交流会の検討。

今後の取り組み方針

・毎年、新たなキャンプ情報の提供や阪神協力会会員確保に向けて取り組む必要がある。
・施設の維持管理、観光推進協議会及び宜野座村商工会との連携をしながら年間を通した誘客を図り観光振興、産業振興につなげ新たな波及・派生効果をも狙う。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,388	6,388	5,109	1,279	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、実績及び経験などを勘案しており、妥当であったと考えている。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－③	海抜表示板設置事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(4)－イ 災害に強い県土づくりと防災体制の強化
担当部課名	総務課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－10－(2)
事業内容	村内には、海岸付近にペンションや観光誘致施設である海洋療養施設、物産センター（未来ぎのざ）等が立地しているため、津波到来時の被害を抑える為の対策が必要である。その為に、各地区において海抜表示を設置した。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	3,000				
	(b) 予算現額	2,772				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 228				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	2,772				
B. 執行済額		2,772				
	うち交付金充当額	2,217				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		増減額の228千円の減については、入札残による減である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
海抜標示板の設置	目　標	（　250カ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	250カ所			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：海抜表示板の設置に伴い、観光客への海抜の情報提供及び津波到来時の被害を抑える為の対策ができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
海抜標示板の設置	目　標	（　）	（　250カ所　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		250カ所			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：海抜表示板の設置に伴い、観光客への海抜の情報提供及び津波到来時の被害を抑える為の対策ができた。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・台風被害等による維持管理 ・現段階では、海抜の表示のみを実施しているが、観光客等に的確に周知できるよう検討しなければならない。	・海抜表示板の設置方法として、台風等の災害に耐えられるよう材質や設置方法を改善する方法を検討しなければならない。

今後の取り組み方針

・観光客等の外部から来村される方に対し、より効果的な周知方法として、新たに村内の全体マップを複数個所に設置することを検討する必要がある

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
2,772	2,772	2,217	555	0

	工種名称	単位	数量	規格
	平成24年度宜野座村海抜表示板設置委託業務			
1	作業計画	式	1	
2	設置箇所調査	式	1	
3	設置箇所標高値計測	箇所	250	
4	海抜表示板作成	枚	250	350×450
5	海抜表示板取付け	箇所	250	
6	海抜表示位置データ作成	箇所	250	
7	データセットアップ	式	1	

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-④	リバーパーク整備事業（パークゴルフ場）		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2-（1）-イ「スポーツアイランド沖縄」の形成
担当部課名	企画課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-（1）
事業内容	観光振興（誘客）を図る為、リバーパーク整備構想（漢那福地川沿い）の一環であるパークゴルフ場を整備した。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	104,952				
	(b) 予算現額	109,185				
	(c) 増減額 (b-a)	4,233				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	109,185				
B. 執行済額		109,185				
うち交付金充当額		87,347				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であった。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
パークゴルフ場の整備	目　標	（　18ホール　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	18ホール			
	目　標		（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明		リバーパーク整備事業の一環として整備するパークゴルフ場の整備事業であり、平成25年3月29日計画どおり竣工した。			

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
パークゴルフ場の整備	目　標	（　）	（　18ホール　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		18ホール			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明		リバーパーク整備事業の一環として整備するパークゴルフ場の整備事業であり、平成25年３月29日計画どおり竣工した。				

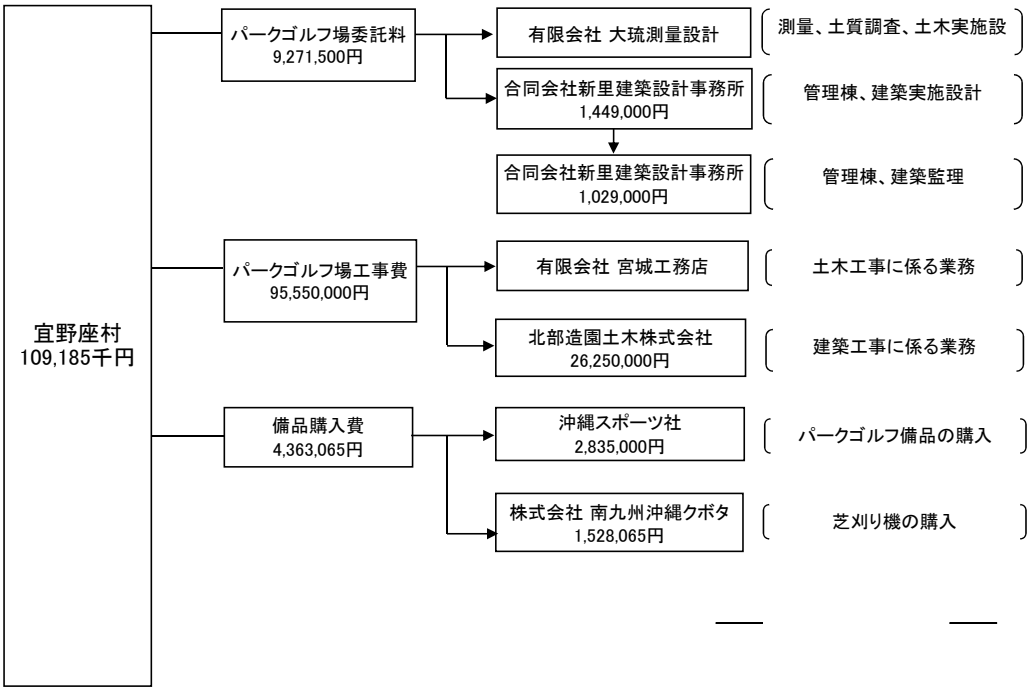
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・施設の年間入込集客人数を、約2万人程度想定しないと運営監理がむずかしい。 ・漢那福地川の河口周辺に位置する為、海からの風雨が強く芝、植栽の維持管理等の方法検討。 ・活動実績や成果実績については、今年秋頃のオープン予定なので事業成果が 把握できない。	・施設の利用客の確保 ・グランドコンディションの管理体制及び台風対策の検討 ・施設運営・管理シュミレーションの検証 ・施設運営・管理方法（体制）の検討

今後の取り組み方針

整備したパークゴルフ場のコースの芝生が根付く平成25年秋頃にオープンを予定している。それまでに、指定管理者および運営方法、などパークゴルフ場の管理について整備する必要がある。
集客を図る為、村商工会や観光推進協議会、各種団体などと連携する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
109,185	109,185	87,347	21,838	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものに限定しており適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑤	かんなタラソ沖縄活性化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(2) 世界水準の観光リゾート地の形成
担当部課名	企画課	事業実施（予定）年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	村内にある「かんなタラソ沖縄」に運動器具・身体測定システム導入など機能強化することにより、長期滞在型の観光モデル形成やスポーツ合宿、阪神タイガースキャンプと連携した誘客を図った。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　■その他（購入）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	27,523				
	(b) 予算現額	21,142				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 6,381				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	21,142				
B. 執行済額		21,142				
うち交付金充当額		16,913				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
かんなタラソ沖縄資機材の整備（運動機具・身体測定システム・血圧計一式）	目　標	（　資機材整備　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	資機材整備			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：・運動器具・身体測定システム、血圧計一式及びジェットポンプの整備事業であり、計画通り整備することかできた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
長期滞在観光施設の機能強化	目　標	（　）	（　機能強化　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		機能強化の実施			
【参考指標】 ①かんなタラソ沖縄資機材の整備（運動機具・身体測定システム・血圧計一式） ②ジェットポンプの機能強化整備（5台）	目　標	（　）	（　①　19 ②　5　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		①　19 ②　5			

進捗状況説明：・運動器具・身体測定システム、血圧計一式及びジェットポンプの整備事業であり、計画通り整備することかできた。

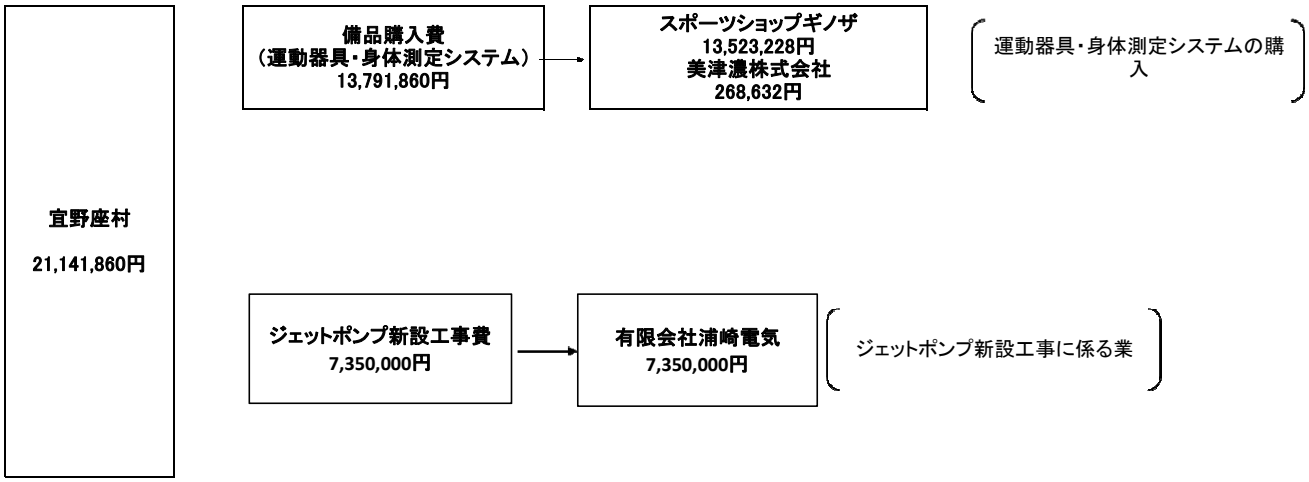
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・ジェットポンプ利用者数、運動器具・身体測定システムの利用者数を把握し、施設全体の利用者数の増を検証。 ・海岸沿いの施設となるため、塩害等による被害を想定し、維持管理の方法を検討。	・施設利用客の確保 ・施設の設備管理体制及び台風対策の検討 ・施設運営・管理シュミレーションの検証

今後の取り組み方針

購入した運動器具・身体測定システム、新設したジェットポンプについては、平成25年度からの運用開始を予定している。それまでに施設の運営・管理方法などについて検討する必要がある。
集客を図るため、村観光推進協議会や各種団体などと連携する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
21,142	21,142	16,913	4,229	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・備品購入及びジェットポンプ新設工事は指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	１－⑥	ビーチクリーンアップ事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(1) 自然環境の保全・再生・適正利用
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成２４年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1－(1)
事業内容	村内のビーチにおいて海からの海藻等の漂流物が大量に流れ込んでいる為、手作業での除去作業が困難である為、海藻等の除去の円滑化を図り、美化活動に力を入れ、環境を整備し、地域活性化及び観光客誘致へ繋げる目的でビーチクリーナーを購入した。				
実施方法	□直接実施　□委託　□補助　□負担　■その他 （購入）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	27,523				
	(b) 予算現額	12,117				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 15,406				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	12,117				
B. 執行済額		12,117				
うち交付金充当額		9,693				
次年度繰越額		0				
執行率 （%） (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考える。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
ビーチクリーン実施回数	目 標	（ 10回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績	0回			
	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績				
達成状況説明		平成24年度の実施を10回見込んでいたが、機器の納入が遅れた為、平成24年度の実施ができなかった。(H25.3.12納品)			

成果目標（指標）及び進捗状況

		基準値（ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）
ビーチクリーン実施	目 標	（ ）	（ 10回 ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績		0回			
【参考指標】	目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実 績					
進捗状況説明		平成24年度の実施を10回見込んでいたが、機器の納入が遅れた為、平成24年度の実施ができなかった。(H25.3.12納品)				

取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	・村内のビーチを観光スポットとして強化するためには、周辺地域との連携を図る必要がる。 ・機器の納入が遅れた為、平成24年度の実施ができなかったので事業成果が把握できない。 ・台風シーズンになった場合、倒木や海藻等によるビーチ汚染が通常より被害が大きいことが予想される為、ビーチクリーナーのみでの整備が難しい。	・かんなタラソ沖縄、未来ぎのざ、漢那ダム等、周辺地域と連携したイベントや、ビーチを活用したイベントの検討 ・施設運営・管理方法（体制）の検討 ・施設運営・管理シミュレーションの検証

今後の取り組み方針

・購入したビーチクリーナーを活用し、平成25年度からビーチ美化活動等を予定している。地元漁業組合と協議し、ビーチクリーナーの管理、運営を委託し年間を通して観光客誘致を図る必要がある。
・観光客誘致を図る為、村観光推進協議会や村商工会、各種団体などと連携する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
12,117	12,117	9,693	2,424	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・備品購入は指名競争入札により業者を選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

事業番号・事業名	1-⑦	宜野座村文化のまちづくり魅力発見事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－1－(5)－ア 文化産業の戦略的な創出・育成
担当部課名	社会教育課	事業実施(予定)年度	平成24～平成33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－(2)
事業内容	＜平成24年度概要＞ 大人の音楽会、ライブハウスがらまん、宜野座村芸能公演、沖縄芝居特別公演、ミュージカル、フランス美術展、子ども育成事業(演劇、ストリートダンス)、がらまんお出かけコンサート、ストリートダンスコンテストなど子供から大人までを対象とした幅広い事業展開を行った。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	25,707				
	(b) 予算現額	28,316				
	(c) 増減額 (b-a)	2,609				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	28,316				
B. 執行済額		28,316				
うち交付金充当額		20,566				
次年度繰越額		0				
執行率 (%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		・当初計画どおりに事業を実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標(指標)		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
芸術文化・伝統芸能公演の開催数	目　標	(4回)	( )	( )	( )
	実　績	17回			
【参考指標】お出かけ公演(芸術普及活動)実施数	目　標	(10回)	( )	( )	( )
	実　績	11回			

達成状況説明

村内各所において昨年度よりも多くのお出かけコンサートを実施することができ、ネットワーク構築の足掛かりとなる関係性を構築できた。
台風の影響により日程や会場の都合がつかずキャンセルした事業があったにも関わらず、芸術文化・伝統芸能公演の開催数は当初目標を上回った。
各事業に於いては村内のみならず村外からも多くの来場者があり、宜野座村のアピールと共に経済波及効果を生み出した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標(指標)		基準値(23年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(33年度)
芸術文化・伝統芸能公演来場者数	目　標		16,000名	( )	( )	32,000名
	実　績	3,751名	15,831名			
【参考指標】お出かけ公演(芸術普及活動)における対象者数	目　標		－	( )	( )	基準値の1.2倍
	実　績	700名	2,565名			

進捗状況説明

お出かけ公演の一部波及効果により芸術文化・伝統芸能公演における集客数が目標を上回った。
定期公演の一つ9月の大人の音楽会は台風の為キャンセルとなった。
同じくフランス美術展も台風の影響により数日間開催できなかった。
＊成果目標のホール総入場者数16,000名に169名届かなかったが、本事業における入場者目標、3,013名に対し実績3,940名と目標を上回る事ができた。

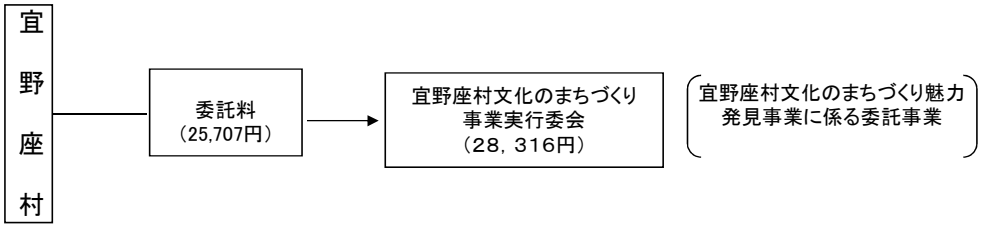
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	①事業内容によって集客に偏りがある。 （伝統文化系の催し物は地域住民が多く、芸術系の催し物は村外来場者が多い） ②偏りのないよう多様な芸術文化・伝統芸能公演を実施する。 ③観光客へのアピールが弱い。 ④パブリシティ効果をもっと活用する。 ⑤村内各施設との連携と継続性を考慮する。 ⑥新たな波及・派生効果の活用狙う。 ⑦成果目標の設定がホール総入場者数となっており、本事業以外の集客も含まれることから、事業評価しにくい。	①文化事業は個人の嗜好が反映されるが各事業の魅力を存分にアピールして新たな創客を計り来場者増を図る。 ②各年の事業一覧を分析し、未分野の芸術文化事業を紹介する。 ③ホテルや観光名所にチラシなどを広告物を送付・設置依頼を行う。 ④各メディアに毎回取材依頼を申し込む ⑤対象施設とは単発的に事業を行うのではなく継続して連携を行う。 ⑥他分野（農業、工業、スポーツ）との連携を行い新たな効果を検証する。 ⑦成果目標の設定を本事業のみの入場者数に再設定する。

今後の取り組み方針

各年に新たな分野の芸術文化を紹介し多様な事業展開を行う。事業対象においては「地域」「県内」「観光客」をキーワードに、効果的にアピールを行いリピーターや新たな創客も図る。
また事業を行う際には地域振興、地域アピールに効力的なパブリシティを考慮しメディアなどにアピールを行い、他分野（農業、工業、スポーツなど）とも連携し、新たな波及・派生効果をも狙う。
成果目標の設定が、本事業以外の入場者数も含まれていることから、本事業のみに焦点を絞って評価できる成果目標に再設定する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
28,316	25,707	20,565	5,142	2,609



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○支出先である文化のまちづくり実行委員会は、村内の各種団体の関係者で構成されており、文化センター設立以来、がらまんホール事業の企画を行っている。そのため、村内のニーズにあったイベント開催、地域とのつながりが非常に強く、円滑な事業が望め補助金支出先としては妥当であった。 ○費用の支出は事業遂行のために必要な金額であり、事業終了後、決算書において村に報告と承認を受けた。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－①	小学校学力向上対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	小学校に学習支援員を配置し、児童一人一人へ確かな学力を身につけさせ、生きる力を育成するとともに、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、想像力とねばり強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図った。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	11,290				
	(b) 予算現額	9,652				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,638				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,652				
B. 執行済額		9,652				
うち交付金充当額		7,721				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算減額の差（▲1，639千円）については、交付決定後の8月から事業執行したため。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
支援員配置数	目　標	（　8人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	8人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：本年度目標の学習支援員8名を配置し担当教員との連携による授業を行うことができた。
H24事業計画においては、IT指導員配置を本事業で予定していたが、IT指導員については村費において配置し行った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
支援員配置数	目　標	（　0人　）	（　8人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		8人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本年度目標の学習支援員8名を配置し、担当教員との連携による授業を行うことができた。支援員配置の効果については、単年での評価が困難であり、今後、校長の評価及び各種テスト等の数値等により評価を行う。

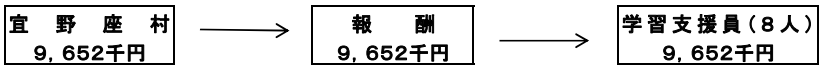
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	本年度は目標の学習支援員8名を配置し、担当教員との連携による授業を行うことができたが、支援員配置の効果については、単年での評価が困難であり、今後、校長の評価及び各種テスト等の数値を参考に配置数等について検証が必要である。	事業を継続して実施し、校長の評価及び各種テスト等の数値により、検証を重ね、改善点を検討する。

今後の取り組み方針

学習支援員配置による学力向上の効果について、単年での判断は困難であり、事業を継続して実施し、各年度の校長の評価及び各種テスト等の数値を比較検証し、事業の継続や見直し等について検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,652	9,652	7,721	1,931	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	－	支出先の選定方法は妥当か。	学習支援員配置の予算は、、宜野座村学習支援員の報酬額により計上されている。支援員の配置人数についても学校等のヒヤリングにより決定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－②	中学校学力向上対策事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－5－(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実
担当部課名	学校教育課	事業実施（予定）年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(1)
事業内容	中学校に学習支援員を配置し、生徒一人一人へ確かな学力を身につけさせ、生きる力を育成するとともに、TT（チームティーチング）による指導で判断力、思考力、想像力と粘り強さを育て、学習の基礎・基本の確実な定着を図った。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	5,120				
	(b) 予算現額	5,112				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 8				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	5,112				
B. 執行済額		5,112				
うち交付金充当額		4,089				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画通りの執行ができた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
支援員配置数	目　標	（　４人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	４人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				

達成状況説明：本年度活動目標の学習支援員４名を配置し担当教員との連携による授業を行うことができた。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
支援員配置数	目　標	（　0人　）	（　4人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		4人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：本年度目標の学習支援員４名を配置し、担当教員との連携による授業を行うことができた。

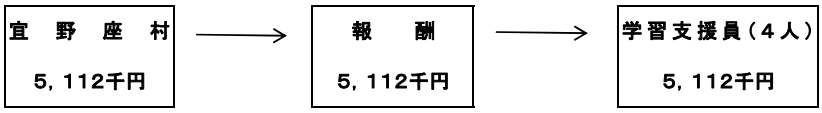
取組の検証	**推進上の留意点**（推進上の問題、外部環境の変化）	**改善余地の検証**（効率の更なる向上の視点）
	本年度は目標の学習支援員4名を配置し、担当教員との連携による授業を行うことができたが、支援員配置の効果については、単年での評価が困難であり、今後、校長の評価及び各種テスト等の数値を参考に配置数等について検証が必要である。	事業を継続して実施し、校長の評価及び各種テスト等の数値により検証を重ね、改善点を検討する。

今後の取り組み方針

学習支援員配置による学力向上の効果について、単年での判断は困難であり、事業を継続して実施し、各年度の校長の評価及び各種テスト等の数値を比較検証し、事業の継続や見直し等について検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,112	5,112	4,089	1,023	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	－	支出先の選定方法は妥当か。	学習支援員配置の予算は、、宜野座村学習支援員の報酬額により計上されている。支援員の配置人数についても学校等のヒヤリングにより決定しており、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	２－③	幼稚園預かり保育事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－2－(2) 子育てセーフティーネットの充実
担当部課名	学校教育課	事業実施(予定)年度	Ｈ２４～Ｈ３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-4
事業内容	幼稚園において預かり保育を実施し、親子が健やかで安心して日常生活を送れるような支援を充実させた。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,975				
	(b) 予算現額	4,471				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 3,504				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	4,471				
B. 執行済額		4,471				
うち交付金充当額		3,576				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初予算額と予算減額の差（▲3，504千円）については、交付決定後の8月から事業執行したため。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
預かり保育担当配置数	目　標	（　4人　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	4人			
	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績				
達成状況説明	本年度目標の預かり保育担当を4名配置し、預かり保育を実施した。				

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（33年度）
預かり保育担当配置数	目　標	（　0人　）	（　4人　）	（　）	（　）	（　4人　）
	実　績		4人			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					
進捗状況説明	本年度目標の預かり保育担当を4名配置し、村立3幼稚園において園児53人の預かり保育を実施することができた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本年度は目標の預かり保育担当4名を配置し、村立3幼稚園において園児53人の預かり保育を実施することができた。今後は、園児数の推移及び父母のニーズ等把握が必要である。	今後は、父母のニーズ等把握し、保育時間、配置人数等検証を行う。

今後の取り組み方針

預かり保育に対する利用者等の意見を反映させるよう、保育時間等父母の意見把握に努め、事業の継続や見直し等を検討する。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,471	4,471	3,576	895	0

資金の流れ、費目・使途の点検・評価	評価	点　検　項　目	評価に関する説明
	―	支出先の選定方法は妥当か。	預かり保育担当の配置は3園で、最小必要人数4名の配置で適正な規模となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	―	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	―	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３－①	有機の里宜野座村確立事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章ー3－(6) 沖縄の魅力や優位性を生かした産業の振興
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成２４～３３年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ－1
事業内容	エコビレッジ構想を推進するため、専門技術員による栽培指導を実施している。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	7,802				
	(b) 予算現額	5,406				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,396				
	(d) 前年度繰越額	ー				
	A. 計 (b+d)	5,406				
B. 執行済額		5,406				
うち交付金充当額		4,324				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				

予算の状況の説明：事業開始が、当初より遅れたため報酬の一部を減額した。当初計画した事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて、適正であったと考えている。

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（27年度）
エコファーマー認定に向けた栽培指導	目　標	（　）	（栽培指導）	（　）	（　）	（　）
	実　績		栽培指導の実施			
【参考】栽培指導員の配置	目　標	（1名）	（2名）	（　）	（　）	（2名）
	実　績					

達成状況説明：エコファーマーの認定に向け、農業技術員による有機農法の栽培指導を行うため、栽培指導員を2名配置した。認証マークのエコファーマーの農産物を有利販売するため、量販店等との検討・調整を図った。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（25年度）
エコファーマーの認定数	目　標	（9名）	（5名）	（　）	（　）	（30名（延べ））
	実　績		3名			
【参考指標】	目　標	（　）	（　）	（　）	（　）	（　）
	実　績					

進捗状況説明：生産農家が、エコファーマーを申請し、認定を受け取得する事による販促メリットと慣行栽培とエコ栽培(農薬3割減による栽培など)の差別化などが十分に把握していない事などがあり、認定目標5名に対し3名の認定となった。

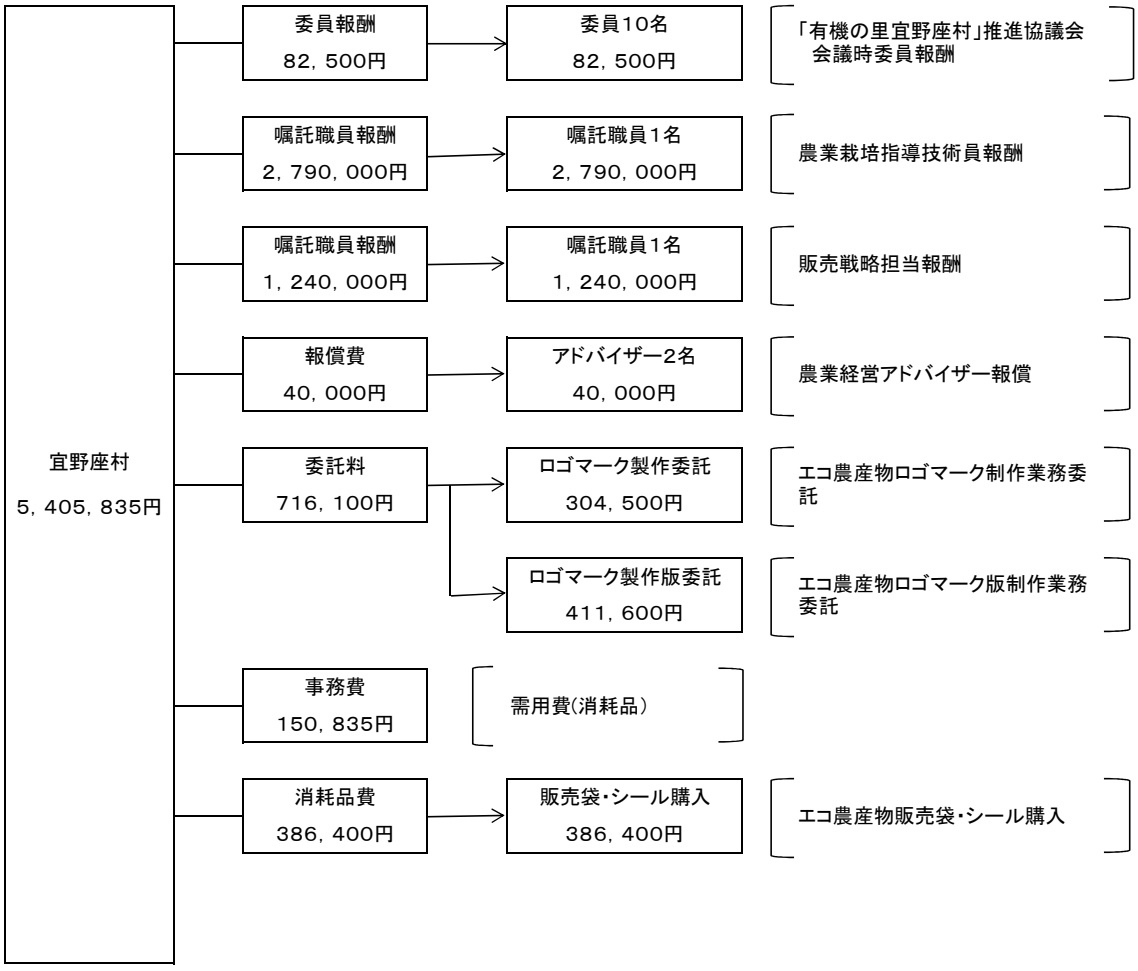
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本村は、平成22年3月、「有機の里宜野座村」を宣言し、安心・安全なエコ農産物の生産・販売に取り組んだ。 平成23年3月11日の東日本大震災による福島原発放射能汚染問題で沖縄の農産物の認知度は全国で高まっているものの、逆に県内消費については、県外産が安価で大量に出回っていることから、県内での価格の不安定が懸念される。 又、TPP交渉により外国産の輸入が大幅に増えることから、如何に宜野座エコ農産物を高値で販売できるかが大きな課題になっている。	農業技術指導員の配置により、宜野座村独自の生産技術の確立、更には、販売戦略担当職員の配置により、販売ルートを確保することにより、差別化販売することで農家所得向上を図る。 更には、TPPを逆手にとって、東南アジア等の富裕層を狙った販売ルートの確保を図っていく。

今後の取り組み方針

戸別巡回及び説明会の開催などで広くアピールし、更にエコ栽培の指導を強化し、併せて別売り(差別化)のできる販売ルートを確保し、エコファーマーの積極的な推進に取り組む。
老朽化した施設の修繕並びに災害に強い施設の新設等により、病害虫及び台風等災害対策を徹底し、農薬及び化学肥料に頼らない農業を確立していく。
又、本土等の先進地を研修し、戦略品目、栽培技術等の調査研究を行い、本村農業への普及推進を図っていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,406	5,406	4,324	1,082	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の決定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	３-②	堆肥センター（バキューム車購入）整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章－3－(7)－ウ 農林水産物の安全・安心の確立
担当部課名	産業振興課	事業実施（予定）年度	平成24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(6)
事業内容	畜産農家と耕畜連携を強化するため、施肥資材を整備した。				
実施方法	■直接実施　□委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	22,251				
	(b) 予算現額	22,251				
	(c) 増減額 (b-a)	0				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	22,251				
B. 執行済額		22,251				
うち交付金充当額		17,800				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		計画とおりの執行となりました。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
バキューム車の購入	目　標	（　1台　）	（　）	（　）	（　）
	実　績	10tバキューム車購入			
			（　）	（　）	（　）
			（　）	（　）	（　）

達成状況説明：
平成25年2月に堆肥センターへ10tバキューム車を導入し、その後供用を開始した。
※10tバキューム車の導入により、豚ぷん尿の収集作業が大幅に効率化された。
・ 10tバキューム車導入前　　2．5tバキューム車で20回収集／日
・ 〃　　導入後　　10tバキューム車で　5回収集／日

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（平成23年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（平成26年度）
施肥利用農家数	目　標	（　）	（　3名　）	（　）	（　）	（　）
	実　績		3名			
【参考指標】さとうきび収量	目　標	（　3,500t　）	（　5，000t　）	（　）	（　）	（　7，200t　）
	実　績		3，600t			

進捗状況説明：
○3養豚農家のし尿汲み取りを実施した。
○平成24年度の目標値は、さとうきび植付け実績からの収量見込みであるが、相次いで襲来した台風により、大きな被害を受け結果として3，600tの出荷となった。しかし、台風が襲来するまでの、さとうきびの成長は順調であったことから、台風被害がなければ、十分に見込みを上回ったものと推測される。また、バキューム車の納車が平成25年2月末であったことから、バキューム車導入による事業効果はこれから現れてくるものと思われる。

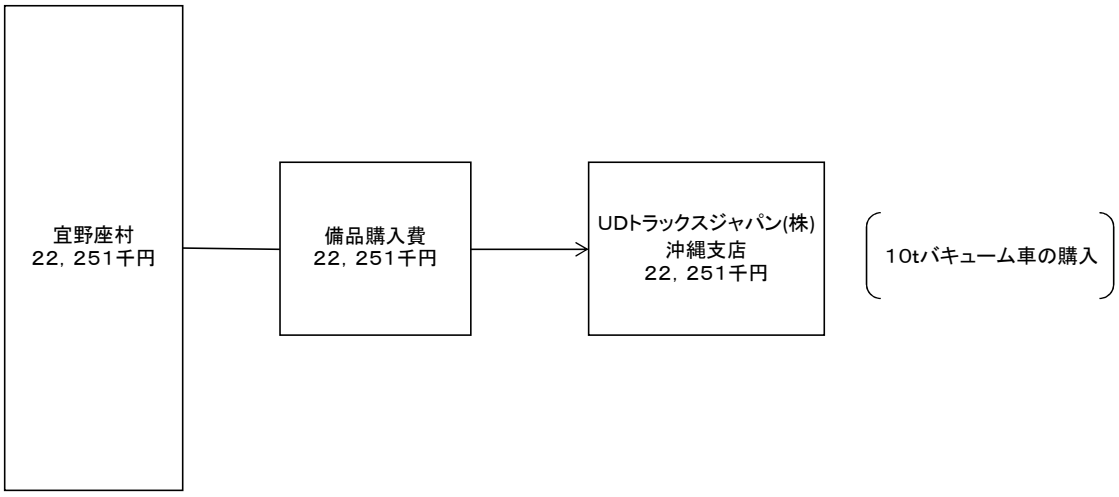
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	現在のところ、農家においても水肥投入によるさとうきび成長への効果を実感しているものと思われるが、台風被害によりさとうきびの収量増が確認されていないため、農家が今後も継続して水肥投入を行っていくのか心配される。	水肥投入が地力に与える効果を検証し、農家に周知することで水肥の継続的投入を促す。

今後の取り組み方針

水肥投入の推進と農地の管理指導を併用して行うことで効果を増大させていく。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
22,251	22,251	17,800	4,451	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○備品購入は、指名競争入札による結果であり、妥当であったと考えられる。 ○予算規模も、三者より見積を徴収し決定したので適正であると考えられる。 ○事業を実施するうえで、不可欠な備品購入となっている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	4	仮戸籍申告書の電子化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(5) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決
担当部課名	村民生活課	事業実施（予定）年度	H24	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-12
事業内容	劣化が激しく長期保存に耐えられない戸籍関係書類をデータ化し、管理システムを構築することにより、住民サービスの向上を図った。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	10,467				
	(b) 予算現額	9,359				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,108				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	9,359				
B. 執行済額		9,359				
うち交付金充当額		7,486				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		単価の引き下げにより当初予算と最終予算とに差額が生じた。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
電算化した仮戸籍数	目　標	（ 2,103戸 ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績	2,103戸			
	目　標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績				

達成状況説明：電算化が必要な沖縄関係戸籍2103件全てを電算化した。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（ 年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（ 年度）
仮戸籍の電算化率	目　標	（ 0 ）	（ 100% ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績		100%			
【参考指標】	目　標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実　績					

進捗状況説明：沖縄関係戸籍2,103件を計画通り電算化できた。

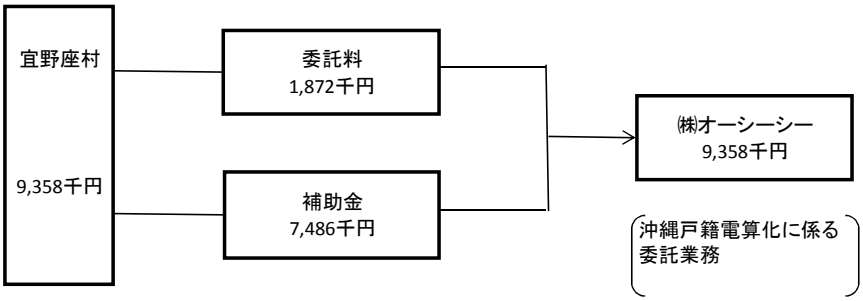
取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	これまで交付事務に係る時間が1時間程かかっていたが、電算化することにより時間が短縮された。しかし、電算化したことによりシステムに不具合が生じると住民に対して交付が出来なくなるため、定期的にシステムのメンテナンスを行うことが課題である。	・今回データ化した戸籍は沖縄の特殊な戸籍のため、事務処理に必要な専門知識を高める。 ・システムの定期的なメンテナンスを行う。

今後の取り組み方針

電算化したことにより、交付事務に支障をきたさないよう定期的にシステムのメンテナンスを行う必要がある。

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,359	9,359	7,486	1,873	0



資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、現在使用中の戸籍システムと関連しているため選定は妥当であったと考えている。 ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	宜野座村

平成２４年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5	上水道遠隔管理システム機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	3章-2-(4) 社会リスクセーフティーネットの確立
担当部課名	上下水道課	事業実施（予定）年度	平成24～平成25年	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-11
事業内容	演習中である場合、村の立ち入りが許可されない米軍演習場内にある水源が、赤土等の流出による汚染を早急に発見するため、濁度計を浄水場に設置し、また台風常習地帯でもある本県でもあるため、集中豪雨、暴風等の災害にも強いシステムに強化をした。ダムや施設等で起きた異常や故障等は警報メールにて担当者携帯に通知される。現在は、以前より管理システムが充実し、より安全、安心の飲料水の供給が可能となった。				
実施方法	□直接実施　■委託　□補助　□負担　□その他（　）				

予算額・執行額【単位：千円】（「交付金」＋「市町村負担」ベース）

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
予算の状況	(a) 当初予算額	25,804				
	(b) 予算現額	25,725				
	(c) 増減額 (b-a)	▲ 79				
	(d) 前年度繰越額	－				
	A. 計 (b+d)	25,725	0			
B. 執行済額		25,725				
うち交付金充当額		20,580				
次年度繰越額		0				
執行率（%）(B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初計画（設計）したとおり適性に執行（施工）することができた。増減額の７８千円の減については、入札残による減である。				

活動目標（指標）及び達成状況

H24活動目標（指標）		達成状況 24年度	25年度	26年度	27年度
構成の濁度計設置　1台 無線LAN伝送版設置　5台	目　標	（　8箇所の施設　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績	8箇所の施設			
	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績				

達成状況説明：福山浄水場に水質濁度計を設置したことで、水源の状態が集中的に管理ができ、8箇所の水道施設を災害にも強い遠隔システムに機能強化したことで、停電、暴風でも施設全体を管理することができるようになった。

成果目標（指標）及び進捗状況

H24成果目標（指標）		基準値（　年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（　年度）
災害に強い遠隔システムの機能強化	目　標	（　　）	（8箇所の施設）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績		8箇所の施設			
【参考指標】	目　標	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）	（　　）
	実　績					

進捗状況説明：福山浄水場に水質濁度計を設置したことで、水源の状態が集中的に管理ができ、8箇所の水道施設を災害にも強い遠隔システムに機能強化したことで、停電、暴風でも施設全体を管理することができるようになった。

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業推進中も、集中豪雨及び台風の影響でで赤土水が水源池に混入することが多く、水源池が米軍演習場内にあったため確認がうまくできないときがあった。また、台風襲来でテレメータ回線が切断し、管理がうまくいかなかった。今後課題となっている米軍側に対する水源周囲の赤土流出防止対策の要望を強くし、沖縄県の特殊事情の一つでもある台風による対策等も検討していかなければならない。	集中豪雨等で水源池に赤土が流れ出し浄水工程に支障をきたし、安全で安心な水道の供給に不安があったが、今回の機能強化工事と濁度計設置により、赤土水が施設内に混入しても警報で管理できるため、汚染される前に対応が可能となった。テレメータ回線を有線と無線LANの二回線を使うことで災害に強いシステムとなった。今後も集中豪雨時に濁度水の混入回数と最大濁度等の調査を行う予定で、また無線LAN設置による実績調査も重ね、改善余地を検証していく。

今後の取り組み方針

今回の事業を行ったことで、課題であった浄水施設への高濁度水の混入を監視できるようになった為、薬品注入率の管理体制が強化した。また、台風襲来によってテレメータ回線が切断し機能停止状態になった時もあったが、無線LAN設置により監視体制が強化した。今後の取り組みは米軍演習内にあるダム内の赤土流出防止対策を検討し、濁度計による集中監視を徹底して行う。また、無線LAN設置の実績調査によっては、無線通信の拡大も検討していく。

資金の流れ

（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
25,725	25,725	20,580	5,145	0

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	工事請負者は指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。予算規模は、設計、積算等で算出したものなので妥当である。費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等については支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	